

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2019年 4月 22日作成

研究課題名	日本での IADPSG 基準導入による妊娠糖尿病の定義変更の効果に関する検討
研究の対象	2005 年から 2015 年までに当院で妊娠 22 週以降に単胎生産分娩された妊婦さん
研究目的 ・方法	目的：2010年に行われた日本の妊娠糖尿病の診断基準の変更により妊婦さん全体へどのような変化をもたらしたのかについて検討すること。 方法：当センターの診療録・分娩登録データベースから情報を収集して解析します。
研究期間	西暦 2019年 7月 2日 ~ 西暦 2022年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	情報：患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴、家族歴、血液検査結果、妊娠分娩転帰（分娩方法、分娩週数、妊娠高血圧症候群の発症）、新生児情報（在胎週数、出生児体重、アプガースコア、臍帯動脈血pH、低血糖治療の有無、NICU入院の有無）
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 母子医療センター（研究責任者）中西沙由理 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5873</p>	